

「居住地の緑化ガイドライン」について

～みどりの回廊づくり～

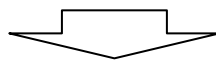
林務部 森林づくり推進課

1 策定の背景

長野県は、県土の8割が森林に覆われた緑豊かな森林県ですが、居住地に目を向けると意外と緑が少ないといった状況が多く地域で見受けられます。

このため県では、昭和51年度から3次にわたる緑化計画（グリーンプラン）を策定し、緑化施策を展開してきました。

しかし近年、地球温暖化対策への貢献など、新しい観点から緑化に対する期待が高まっており、また、長野県の中心市街地などでもヒートアイランド現象が生じていること、さらには、大都市で進む様々な緑化方策を踏まえ、長野県としての新たな緑化の指針が必要となっています。



長野県らしい質の高い緑化を進めるという観点で、公共施設はもとより、県民ひとり一人、NPO、事業者等、民間レベルでの緑化を誘導するため、長野県らしいみどりづくりを示す基本的な指針「居住地の緑化ガイドライン」をまとめました。

2 居住地の緑化ガイドラインの概要

- 策定期期 平成21年3月
- 目 標 長野県らしいみどりづくりの推進
- 基本方針 長野県には、居住地周辺に森林が分布し、また、居住地には「鎮守の森」や、街路、公園など拠点となるみどりが点在します。
これらのみどりを連続させることが大切です。
そこで、「みどりの回廊づくり」という総合的な取り組みを進めます。



(1) 拠点となるみどりの保全

みどりの回廊を形成する上で拠点となる、身近な緑化木や巨樹・古木などの樹木を保全するため、樹木の診断や治療の方法を整理しました。

(2) みどりの回廊づくり

ア 地上部への植栽

緑化を行う場合の代表的な施設として、「家庭・個別住宅」、「公園」、「道路」及び「学校」について、それぞれのみどりづくりの留意事項と具体的な事例、維持管理の手法を整理しました。

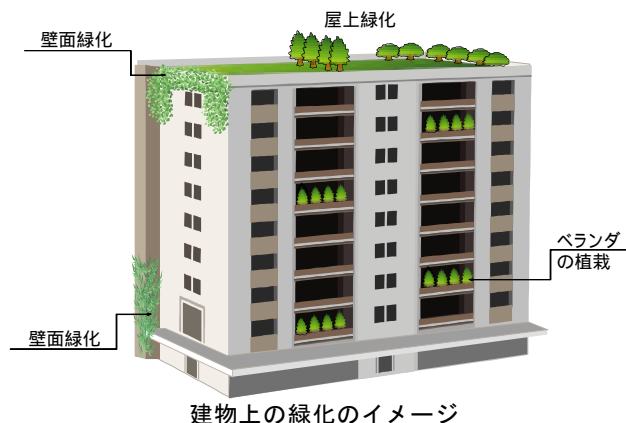


松本市役所前のカツラ

イ 屋上・壁面緑化

市街地などでは、植栽スペースが限定され、緑化を地上部で実施するのは物理的に困難です。しかし、ヒートアイランド現象などが発生している地域でもあることから、屋上や壁面などに新たな緑化が大都市で進められています。

このため、こういった取組みを参考としながら、「屋上緑化」及び「壁面緑化」を進める上での留意事項について、その種類、検討のポイント等を整理しました。



ウ 学校の校庭などの芝生化

学校の校庭の芝生化は、子供たちの情緒面や教育面などで、様々な効用があるといわれています。

一方、「芝生化の費用」、「芝生の維持管理」、「合意形成」といった課題もあります。

このため、東京都の事例を参考に、その効果を整理するとともに、芝生化の留意事項をまとめました。



南牧村立南牧北小学校の芝生校庭（南牧村教育委員会）

(3) 緑化の取組みをCO₂吸収量で自己評価

緑化の取組みにより、樹木がどの程度CO₂を吸収固定するか、概数として計算する方法を示しました。

今後、誰でも簡単に自己評価できるよう、その方法を長野県のホームページで紹介する予定です。

3 付属資料

長野県内の天然記念物一覧（植生）	・・・	741種を紹介
長野県の桜の名所・名木一覧	・・・	地域別に129の名所・名木を紹介
みどりのコンサルタント事業 事例集	・・・	事例の紹介
長野県にふさわしい緑化木	・・・	70種を選定